

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社

コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤原 信義

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 満田 光信

TEL 079-235-6005

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	16,475	△65.2	△6,780	—	△6,530	—	△3,991	—
21年3月期第1四半期	47,309	—	3,015	—	3,099	—	1,874	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△24.72	—
21年3月期第1四半期	11.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	145,613	84,539	57.8	521.03
21年3月期	147,778	87,027	58.6	536.49

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 84,116百万円 21年3月期 86,611百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	1.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	38,000	△61.6	△8,500	—	△8,200	—	△5,100	—	△31.59
通期	100,000	△38.6	0	—	500	△89.6	300	—	1.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 167,124,036株 21年3月期 167,124,036株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 5,682,056株 21年3月期 5,683,993株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 161,443,019株 21年3月期第1四半期 162,782,844株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想には様々な不確実な要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(上記業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。)

当期の配当につきましては、先行きの需要環境が極めて不透明なことから、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の需要動向を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）のわが国経済は、米国の金融問題に端を発する世界同時不況を背景とした、輸出の減少、生産減による企業収益の悪化、設備投資の急減などにより、前四半期に引き続き、非常に厳しい状況で推移いたしました。

特殊鋼業界におきましては、主要需要業界である自動車、産業機械、建設機械業界などの生産が、需要の減少と在庫調整の影響により極めて低い水準で推移したことから、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は、前年同期を大きく下回る水準となりました。

このような中、当社グループの売上高につきましては、販売数量の大幅な減少により、前年同期比308億34百万円減の164億75百万円となりました。

利益面におきましては、コストダウンの実施に注力したものの、販売数量の大幅な減少や「棚卸資産の評価に関する会計基準」による棚卸資産評価損の計上額が約19億円にものぼったことなどにより、経常利益は65億30百万円の損失（前年同期は30億99百万円の利益）となりました。四半期純損益につきましては、39億91百万円の損失（前年同期は18億74百万円の利益）となりました。

事業セグメント別の売上高および営業利益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

鋼材事業

昨年秋口以降の需要の急激な落ち込みによる販売数量の減少により、売上高は159億6百万円（前年同期比295億83百万円減）となりました。営業利益につきましては、コストダウンの実施に注力したものの、販売数量の減少、棚卸資産評価損の計上などにより63億80百万円の損失（前年同期は29億23百万円の利益）となりました。

素形材事業

鋼材事業と同様、昨年秋口以降の需要の急激な落ち込みによる販売数量の減少により、売上高は21億7百万円（前年同期比25億62百万円減）となりました。営業利益につきましては、販売数量の減少などにより4億48百万円の損失（前年同期は60百万円の利益）となりました。

その他事業

子会社を通じて、情報処理サービスを行っており、売上高は2億6百万円（前年同期比5億34百万円減）、営業利益は0百万円の損失（前年同期は26百万円の利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、受取手形及び売掛金の増加があったものの、たな卸資産、現金及び預金の減少などにより、1,456億13百万円（前期末比21億65百万円減）となりました。

負債残高は、前期末比3億22百万円増の610億74百万円となりました。

純資産残高は、株式相場の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加があったものの、四半期純損失の計上などにより845億39百万円（前期末比24億88百万円減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、各分野における在庫調整の進展に加え、各国の景気刺激策の効果、また、中国・インドを中心とする開発途上国の経済成長等により、徐々に回復に向かいつつあります。しかしながら、回復後の、実体経済の水準そのものは低いレベルで留まるものと考えざるを得ず、特殊鋼の需要水準についても、従前の高い水準までの回復には時間を要するものと考えます。一方、鉄スクラップ価格については、上昇の兆しが見られるなど、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうした中、当社グループとしては、需要家ニーズへの的確な対応や、非価格競争力の強化に向けた取り組みにより一層注力することで、こうした状況下でも堅調な分野の需要を確実に捕捉するとともに、コストダウンの更なる徹底等の内部努力や、鉄スクラップサーチャージ制度の拡充、確立など、高品質の特殊鋼を適切に供給出来る事業体制の構築を推進し、企業価値の増大を図っていく所存です。

なお、第2四半期累計期間の業績予想は、別途公表のとおり修正いたしましたが、通期の業績予想につきましては、現時点では平成21年4月30日に公表しました業績予想と変更はありません。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的に算出する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,225	22,474
受取手形及び売掛金	19,800	14,439
商品及び製品	6,202	7,309
仕掛品	15,281	18,129
原材料及び貯蔵品	11,537	13,926
未収還付法人税等	825	906
その他	5,092	3,883
貸倒引当金	△68	△91
流動資産合計	76,896	80,977
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	30,969	30,928
その他(純額)	22,904	23,775
有形固定資産合計	53,873	54,703
無形固定資産	956	997
投資その他の資産	13,885	11,100
固定資産合計	68,716	66,801
資産合計	145,613	147,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,933	5,025
短期借入金	31,592	28,496
未払法人税等	39	154
賞与引当金	880	1,736
その他	7,530	9,175
流動負債合計	44,975	44,588
固定負債		
長期借入金	14,085	14,079
退職給付引当金	988	865
役員退職慰労引当金	90	96
環境対策引当金	376	376
その他	557	744
固定負債合計	16,098	16,162
負債合計	61,074	60,751

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,592	22,592
利益剰余金	41,716	45,869
自己株式	△1,726	△1,726
株主資本合計	82,765	86,918
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,629	181
為替換算調整勘定	△278	△488
評価・換算差額等合計	1,350	△306
少数株主持分	423	416
純資産合計	84,539	87,027
負債純資産合計	145,613	147,778

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	47,309	16,475
売上原価	41,282	21,299
売上総利益又は売上総損失(△)	6,027	△4,823
販売費及び一般管理費	3,012	1,957
営業利益又は営業損失(△)	3,015	△6,780
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	133	54
為替差益	128	—
助成金収入	—	322
その他	63	81
営業外収益合計	332	472
営業外費用		
支払利息	132	144
その他	115	77
営業外費用合計	248	222
経常利益又は経常損失(△)	3,099	△6,530
特別利益		
投資有価証券売却益	43	—
貸倒引当金戻入額	4	23
特別利益合計	48	23
特別損失		
固定資産除売却損	22	91
投資有価証券評価損	59	91
ゴルフ会員権評価損	25	—
特別損失合計	107	183
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,040	△6,689
法人税、住民税及び事業税	734	8
法人税等調整額	410	△2,693
法人税等合計	1,144	△2,685
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21	△13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,874	△3,991

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) (単位:百万円)

	鋼材	素形材	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	42,482	4,669	158	47,309	—	47,309
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,007	—	582	3,589	(3,589)	—
計	45,489	4,669	740	50,899	(3,589)	47,309
営業利益	2,923	60	26	3,009	6	3,015

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	鋼材	素形材	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,338	2,107	29	16,475	—	16,475
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,567	—	176	1,744	(1,744)	—
計	15,906	2,107	206	18,219	(1,744)	16,475
営業損失(△)	△6,380	△448	△0	△6,829	48	△6,780

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性を勘案し、事業区分を行っております。

2. 各区分に属する主要な製品および役務

- (1) 鋼材 …… 特殊鋼鋼材、特殊鋼鋼管、金属粉末製品
- (2) 素形材 …… 型鍛造品、熱間転造品、冷間転造品、旋削品、鋼管切断品
- (3) その他 …… 情報処理サービス

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)および

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高	6,252	1,548	805	37	8,644
II 連結売上高					47,309
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.2	3.3	1.7	0.1	18.3

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高	1,923	316	187	29	2,457
II 連結売上高					16,475
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.7	1.9	1.1	0.2	14.9

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国または地域
 (1) アジア …… 台湾、韓国、中国、タイ
 (2) 北米 …… 米国
 (3) 欧州 …… ドイツ、ノルウェー
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

平成22年3月期 第1四半期決算発表

<連結>

1. 当第1四半期の業績 (単位：百万円、%)

	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率
売上高	16,475	47,309	△30,834	△65.2
営業利益	△6,780	3,015	△9,796	—
経常利益	△6,530	3,099	△9,630	—
(ROS)	(△39.6)	(6.6)	(△46.2)	—
四半期純利益	△3,991	1,874	△5,865	—

設備投資	1,128	1,521	△393	△25.8
減価償却費	2,128	2,098	30	1.4

2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期) (単位：億円)

増益要因		減益要因	
1. 原燃料価格の下落	27	1. 販売数量・価格・構成	102
2. 変動費のコストダウン	8	2. 棚卸資産評価損	19
3. 固定費のコストダウン	5	3. 連結子会社の利益減	4
		4. その他	11
計 (A)	40	計 (B)	136
		差引 (A) - (B)	△96

(参考) 業績の推移 (単位：百万円、%)

	19年3月期 第1四半期	20年3月期 第1四半期	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期
売上高	34,008	40,322	47,309	16,475
営業利益	5,097	3,752	3,015	△6,780
経常利益	4,978	3,830	3,099	△6,530
(ROS)	(14.6)	(9.5)	(6.6)	(△39.6)
四半期純利益	2,884	2,211	1,874	△3,991

設備投資	1,257	933	1,521	1,128
減価償却費	1,408	1,712	2,098	2,128